

地域と山手中学校の連携を！

～山下英樹校長にお話を伺いました～



令和6年10月21日に、「海蔵地区まちづくり協議会広報部」のメンバー7名が、山手中学校を訪ねました。

山下校長は、資料をたくさん準備して、現在の山手中学校の様子や今後の部活動、生徒たちの「自己有用感」を育むことへの想いを語ってくださいました。

中学校の休日部活動が「地域クラブ活動」に変わります

少子化により、山手中学校も1年生が6クラス、2・3年生は5クラスしかありません。

部活動は教育的にも大きな意義のある活動ですが、教員も減少している中で、国は令和5年度以降、休日の部活動を学校単位から地域単位の取り組みに段階的に移行していく「地域移行」を進めることとしました。

市では令和8年12月を目途として、休日に新しい活動環境「地域クラブ活動」へ完全移行する準備を進めているとのことです。

経済的な理由などで、やりたい活動ができないなど、大きな格差が生じないように、地域としても見守っていく必要があると感じました。

「自己有用感」を育むために

山下校長によると、「自己有用感」は、「自分の存在が誰かの役に立った」「他人に喜んでもらえた」「学級や学校、地域に貢献している」など、相手の存在なしでは生まれてこない感情で、自分の存在を価値のあるものとして受け止めることのできるものだそうです。これは、「自尊感情」や「自己肯定感」とは異なる感情です。

山手中学校の教育目標でもある「人間性豊かで、自ら考え、行動できる生徒を育成する」場所として、校内だけに限らず、地域とも連携することで、互いに活性化できると思います。

社会性の基礎となる「自己有用感」は、実は年齢に関係ないのかもしれない。

様々な行事へ、ボランティアスタッフとして参加してくれたことに感謝の声が届いています！

■第4回海蔵地区を歩こう会

ゴール後のスマートフォンでの写真確認やクイズの答え合わせ等スムーズに対応してもらえました。

■じんけんフェスタ2024

じんけん

当日会場で行われた表彰式のお手伝いや、人KENまもる君とあゆみちゃんの可愛らしい動きで大活躍！

■海蔵こども食堂あいなし

調理や配膳等、本当に助かっています。絵本の読み聞かせやマジックのアシスタントもありがとう。

「今の」山手中学校を訪ねてみて

昔ながらの古い校舎ですが、とてもきれいに掃除されていました。

また、校長室の歴代校長に恩師の写真を見つけて、懐かしかったです。

山手中学校のホームページが毎日のように更新されていて、学校の様子や生徒のみなさんが活躍しているところ等がよく伝わってきます。

地域の大人も一緒に頑張りたいと思いました。

山手中学校の
ホームページ

